# 事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部福祉課			■担当係	社会福祉係		
■評価事業名称	献血推進事業						
■評価事業コード	040300 - 304 ■会計区分 一般会計						
■総合計画での ■位 置 づ け	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり					
	■基本施策	k施策 04 共に支えあう地域福祉の推進					
	■施策	01 地域で支えあう福祉サービスの仕組みづくり					
■事業の類型	05 ソフト事業(任意) ■政策・業務区分 政策						
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務						
■法令等の名称	安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律(血液法)						
■関連計画の名称							
■事 業 の 目的と概要	市民の博愛精神をはぐくみ、ボランティアが増え、自然に行われるような社会を作る。献 の制度の推進、普及啓発と献血者の確保 要						

### 2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	平成 26 年度事業計画	平成 26 年度事業量実績
01 献血推進事 業	献血協力者	◆全血献血 2,826人E協力事業所(官公庁含み) 70社E協力学校 6校図成分献血は平成25年度をもって終了	◆全血献血 2,634人E協力事業所(官公 庁含み) 73社E協力学校 6校

### 3. 投入コスト情報 (単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
直接事業費	1,786	1,791	1,887	1,887	
人 件 費	2,758	1,023	1,603	1,684	
その他(公債費・ 減価償却費等)					
フルコスト	4,544	2,814	3,490	3,571	

#### 4. 評価指標等の状況

指標 コード	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標の説明
01 全血献	血推進事業	2,866	3,033	3,020	2,634	全血献血200mL、400mL の合計献血者数
02 成分献	<b>加推進事業</b>	119	77		0	成分献血の献血者数(平成 25年度で終了)
03 献血思 業の推	想の普及及び献血事 進					

#### 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

● A. 順調

○ B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

病気等の感染リスク軽減のため、日本赤十字社は400ml献血を推進している。年度別の献血者数は減少しているが、献血による血液量の比較では前年度並みである。

問題点 : 課題等

少子高齢化により、献血可能な人口は年々減少している。全国的に10歳代、20歳代の献血実績数が落ち込んでおり、既に血液不足が問題となっている。

-1. 直接的な受益者の範囲

● 不特定多数に及ぶ

○ 特定されるが多数に及ぶ

○ 特定少数に限定される

-2. 事業廃止の影響

● 大きな不利益やリスクが生じる

○ ある程度の不利益やリスクが生じる

○ 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無・

○ 類似の事業はない

● 類似の事業はあるが競合はない

○ 類似の事業があり競合する

-4. 事業へのニーズの変化

● ニーズが高まっている

○ ニーズは変わらない

○ ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査) -

○ 順位が高い

● 順位が中程度

○ 順位が低い

一6. 施策の優先度(市民意識調査)

○ 順位が高い

● 順位が中程度

○ 順位が低い

-7. 他市町村に比較しての優位性 -

○ 先進的またはユニークな事業である

● 他と同程度の事業である

○ 遅れている事業である

-8. 実施主体の代替性

○ 民間委託等の拡充は難しい

● 民間委託等の拡充が十分に可能

○ 全部委託や実施主体の移行が可能

-9. 経済性・効率性の向上

○ 今以上の効率化や改善は難しい

( 動率化や改善を図ることは十分に可能

○ 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

○ I. 拡充

○ Ⅳ. 民間活用・協働事業化

■ I.継続

○ V. 廃止·休止

○ Ⅲ. 縮小·要改善

○ VI. 完了

補足説明

献血バスの限られた北上市内への運行機会に、多くの献血者を確保できるよう関係機関・団体・協力者への事前周知を徹底していく。